

西日本生産性会議2023

第51回 広島開催

海図なき時代における日本の針路
～労使で挑む生産性改革～



とき

2023年7月24日(月)・25日(火)

ところ

リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL 082-502-1121

主催／中部生産性本部・関西生産性本部・四国生産性本部・九州生産性本部・中国生産性本部

協賛／日本生産性本部・全国労組生産性会議・中国労組生産性会議

後援／中国経済産業局・広島県・広島市・連合中国ブロック連絡会・中国経済連合会・広島経済同友会・中国地方商工会議所連合会・広島県経営者協会

ご 案 内

長きにわたるコロナ禍は、私たちの行動様式、価値観、働き方や生活スタイルに大きな影響を及ぼしました。また、昨今の国際情勢の不安定化はエネルギー資源価格をはじめとした物価の高騰を招くなど、わが国の経済活動に大きな影響を与えており、先行きの不透明感はますます深まっています。

一方で、わが国は人口減少・少子高齢化という構造的な問題を抱えており、今後、様々な社会保障制度や経済活動に深刻な影響を及ぼすことは想像に難くありません。

このような状況において、経済社会を持続的に成長させていくためには、生産性改革の実践が喫緊の課題であり、成長と分配の好循環を実現するためにも、労使の協力による生産性の向上が不可欠です。

西日本地域の5つの生産性本部（中部・関西・四国・九州・中国）は1973年以来「西日本生産性会議」を開催し、労使の共通課題について具体的な行動の方向性を探ってまいりました。

第51回を迎える今回は、「海図なき時代における日本の針路～労使で挑む生産性改革～」を統一テーマとして、広島にて開催させていただきます。西日本地域の生産性運動に携わる方々が一堂に会し、それぞれの立場から日ごろ培った貴重な経験を共有することにより、新世代を拓く新たな生産性運動の発展と実践に役立つ会議に致したく存じます。

ご多忙の折とは存じますが、ご関係者お誘いあわせの上、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

中部生産性本部	会 長	石 黒	武
関西生産性本部	会 長	大 坪	清
四国生産性本部	会 長	長 井	啓 介
九州生産性本部	会 長	酒 見	俊 夫
中国生産性本部	会 長	中 川	賢 剛



第51回

西日本生産性会議2023 全体プログラム

1日目 7月24日(月) 13:30～18:20

13:30～13:40	開会挨拶	中国生産性本部 会長	中川 賢剛 (中国電力(株) 代表取締役社長執行役員)
13:40～13:50	来賓挨拶	日本生産性本部 会長	茂木友三郎 氏 (キッコーマン(株) 取締役名誉会長取締役会議長)
13:50～14:50	基調講演	「世界経済のパラダイムシフト」～日本再生への針路～ (株)日本総合研究所 チェアマン・エメリタス(名誉理事長)	高橋 進 氏
14:50～15:10	休憩		
15:10～17:10	基調討議	「海図なき時代における日本の針路」～労使で挑む生産性改革～ 【パネリスト】 マツダ(株) 代表取締役会長 全国労働組合生産性会議 議長 立教大学 経済学部教授 【コーディネーター】 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授 兼 (株)日本総合研究所 客員研究員 【座 長】 中部生産性本部 会長	菖蒲田清孝 氏 松浦 昭彦 氏 (連合会長代行、UAゼンセン会長) 首藤 若菜 氏 山田 久 氏 石黒 武 (大同特殊鋼(株) 代表取締役会長)
17:20～18:20	参加者交流パーティー		

2日目 7月25日(火) 9:30～16:10

9:30 ～ 11:30	第1討議	「労使が巻き起こす生産性向上の風」～人的資本経営の時代における組織のあり方～ 【パネリスト】 損害保険ジャパン(株) 人事部特命部長 (株)ベネッセホールディングス 人事・ダイバーシティ領域スペシャリスト キリン労働組合 中央執行委員長 【コーディネーター】 (独)労働政策研究・研修機構 理事長 【座 長】 関西生産性本部 会長	水町 友哉 氏 鬼沢 裕子 氏 立松 裕規 氏 藤村 博之 氏 大坪 清 (レンゴー(株) 代表取締役会長兼CEO)
11:30～12:30	昼 食		
12:30～14:30	第2討議	「更なる飛躍へ」～新たな企業価値の創造～ 【パネリスト】 鍋屋バイテック会社 代表取締役社長 akippa(株) 代表取締役社長CEO 嘉穂無線ホールディングス(株) 代表取締役社長 【コーディネーター】 (株)国際社会経済研究所 理事長 【座 長】 九州生産性本部 会長	岡本友二郎 氏 金谷 元気 氏 柳瀬 隆志 氏 藤沢 久美 氏 酒見 俊夫 (西部ガスホールディングス(株) 代表取締役会長)
14:30～14:45	休憩		
14:45～16:00	特別講演	「目標を持って生きることのすばらしさ」～モチベーションを持続するために～ アルピニスト	野口 健 氏
16:00～16:10	閉会挨拶	四国生産性本部 会長	長井 啓介 (四国電力(株) 取締役社長社長執行役員)

(注) ●テーマ、内容、講師、時間、運営形式などについては、変更する場合があります。予めご了承ください。

1日目 7月24日(月) 13:30～18:20

13:30～13:40 開会挨拶 中国生産性本部 会長

中川 賢剛
(中国電力(株) 代表取締役社長執行役員)

13:40～13:50 来賓挨拶 日本生産性本部 会長

茂木友三郎 氏
(キッコーマン(株) 取締役名誉会長取締役会議長)

13:50～14:50 基調講演

「世界経済のパラダイムシフト」～日本再生への針路～



(株)日本総合研究所 チェアマン・エメリタス(名誉理事長)

高橋 進 氏

1976年一橋大学経済学部卒業、住友銀行(現三井住友銀行)入行、1990年日本総合研究所へ出向。調査部長、理事を歴任後、2005年～07年民間より登用され、内閣府政策統括官(経済財政分析担当)として、景気判断、経済財政政策に関わる調査、内外経済動向の分析などを行う。2007年8月日本総研へ副理事長として復帰、2011年6月理事長就任。2013年1月より安倍内閣において司令塔的役割を担う。経済財政諮問会議、働き方改革実現会議、人生100年時代構想会議、規制改革推進会議他に参画。現在は、技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議他に参画中。2018年4月より現職。

14:50～15:10

休 憩

15:10～17:10 基調討議

「海図なき時代における日本の針路」 ～労使で挑む生産性改革～

長きにわたるコロナ禍や国際情勢の不安定化など、先行きの不透明感がますます深まる一方で、わが国は人口減少・少子高齢化という構造的な問題を抱えている。経済社会の持続的成長には、労使の協力による生産性の向上が欠かせないが、大きな変化の時を迎える現在における生産性運動と今後の日本の進むべき針路について考える。

座 長

中部生産性本部 会長

石黒 武
(大同特殊鋼(株) 代表取締役会長)

パネリスト



マツダ(株) 代表取締役会長

菖蒲田清孝 氏

1959年生まれ、広島県出身。同志社大学工学部卒。1982年東洋工業(株)(現：マツダ(株))入社。車両技術部長、防府工場副工場長、オートアライアンス(タイランド)社長、2008年執行役員、技術本部長、2013年常務執行役員 グローバル生産・物流担当、2016年専務執行役員 品質・ブランド推進・生産・物流総括を経て2021年から現職(代表取締役会長)。



全国労働組合生産性会議 議長

松浦 昭彦 氏
(連合会長代行、UAゼンセン会長)

1962年大阪府出身。1984年帝人(株)入社。1992年帝人労組執行委員を経て、2000年旧ゼンセン同盟に出向。2010年旧UIゼンセン同盟書記長、2012年UAゼンセン書記長を歴任。2016年より現職。2017年連合副会長に就任し、2021年に連合会長代行に就任。この間2020年に全国労組生産性会議議長、2021年日本生産性本部副会長に就任。



立教大学 経済学部教授

首藤 若菜 氏

専門は労使関係論、女性労働論。2002年に博士(学術、日本女子大学大学院人間生活研究科)を取得。山形大学人文学部助教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス労使関係学部客員研究員、日本女子大学家政学部准教授などを経て、2018年より現職。主要業績は『雇用が賃金か日本の選択』(筑摩選書、2022年)、『物流危機は終わらないー暮らしを支える労働のゆくえ』(岩波新書、2018年)など。

コーディネーター



法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授
兼 (株)日本総合研究所 客員研究員

山田 久 氏

1987年京都大学経済学部卒業後、住友銀行(現三井住友銀行)入行。1993年4月より(株)日本総合研究所に出向。調査部長／チーフエコノミストなどを経て2019年より副理事長。2023年4月より現職。2015年京都大学博士(経済学)。法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任講師。2023年4月法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授。主な著書に『賃上げ立国論』(日本経済新聞出版社)。

17:20～18:20

参加者交流パーティー

2日目 7月25日(火)9:30～16:10

9:30～11:30

第1討議

「労使が巻き起こす生産性向上の風」 ～人的資本経営の時代における組織のあり方～

先行きの不透明感がますます深まる現在において、企業が持続的に成長・発展していくためには、生産性の向上が不可欠となる。人材を資本と捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる「人的資本経営」への注目が高まるなか、生産性向上に向けて労使でいかに取り組むべきか、経営戦略と連動させた人材戦略の実践について考える。

座長

関西生産性本部 会長

大坪 清

(レンゴー株) 代表取締役会長兼CEO

パネリスト



損害保険ジャパン(株) 人事部特命部長

水町 友哉 氏

2000年安田火災海上保険(株)(現損害保険ジャパン(株))に入社。保険金サービス部門にて保険金支払を通じたお客さま対応、同企画部門を経て、労働組合専従を経験。コールセンター企画部門では、AIを活用したオペレーター支援システムの企画と協力会社との実証実験を実施。その後、渉外部門(当局・業界団体対応)を経て人事部へ。人事部企画グループリーダーとして、人事戦略の策定と戦略に基づく人事制度、働き方改革などの企画・実行、労務などを統括し、2023年4月より現職。



(株)ベネッセホールディングス 人事・ダイバーシティ領域スペシャリスト

鬼沢 裕子 氏

大学卒業後、(株)福武書店(現(株)ベネッセコーポレーション)入社。通信教育事業に従事した後、1997年当時、新規事業として開始した高齢者介護事業の立ち上げに携わる。2004年より人財部にて、主に労務、ワークライフバランス施策の設計と運用などを担当。2019年人財本部長、2021年ベネッセホールディングス人財本部長、CHROを経て2023年4月より現職。



キリン労働組合 中央執行委員長

立松 裕規 氏

2007年キリンビール(株)入社。キリンビール(株)北陸工場(人事労務担当)、キリンビール(株)中部圏統括本部(営業担当)を経て2017年よりキリンビール労働組合専従に着任し、副中央執行委員長、中央執行委員長を歴任。2020年からはグループ4労組が統合して新たに結成されたキリン労働組合の初代中央執行委員長を務める(現職)。キリングループの17の労働組合、約1万人の組合員で構成されるキリングループ労働組合連合会会長も兼務。

コーディネーター



(独)労働政策研究・研修機構 理事長

藤村 博之 氏

1956年11月広島県生まれ。1979年3月名古屋大学経済学部卒業。1982年3月名古屋大学大学院経済学研究科修士課程修了。1984年3月同大学院経済学研究科博士課程中退。1984年4月京都大学経済研究所助手。1990年4月滋賀大学経済学部助教授。1996年11月同大学教授。1997年10月法政大学経営学部教授。2004年4月より同大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授(2007年4月～2011年3月同大学キャリアセンター長)。2023年4月(独)労働政策研究・研修機構理事長。

11:30～12:30

昼 食

「更なる飛躍へ」～新たな企業価値の創造～

経済環境が大きく変化する中においても、地域に活動基盤を置き、独自の戦略とアプローチにより競争優位を保ち、環境変化に負けない成長を続ける企業が多く見られる。本討議では、このような企業のトップを招き、それぞれの経営に対する思いと独自戦略についてお話しいただくことで、変化の時代を生き抜き、更なる飛躍へと繋げる方策について考える。

座長

九州生産性本部 会長

酒見 俊夫

(西部ガスホールディングス株) 代表取締役会長)

パネリスト

鍋屋バイテック会社 代表取締役社長

岡本友二郎 氏

1974年生まれ、岐阜県出身。1998年、青山学院大学経済学部卒業。2002年、Fairfield University, Dolan School of Business経営学修士課程修了。(株)INAX (現・(株)LIXIL)、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズを経て、2007年、鍋屋バイテック会社に入社。2017年、代表取締役社長に就任。公益財団法人 岐阜現代美術財団 理事長、東海鋳造技士会 副会長、一般社団法人 日本工作機器工業会 理事など。

企業紹介

岐阜県関市：伝動・制御・位置決め・ハンドリングのための機械要素部品の開発・製造・販売、鋳物ソリューションの提供。
1560年創業の歴史と伝統を誇りに、鋳物技術を継承し、メカニカルを強みとしながら、時代に合わせるのではなく時代に先駆けて技術と商品を革新させ、メカトロニクスやIoTなど新しい分野に進出、17万点(標準品9万点・特殊品8万点)の商品を取り揃えている。多品種×変量×短納期を実現する生産・組立/調達/物流体制を構築、半導体製造装置/自動車・EV製造装置/医療機器/航空宇宙産業/食品包装機械/工作機械・工場自動化(FA)/電子電機・通信機器など幅広い業界業種323,397件(顧客DB登録件数)のお客さまへ、欲しいときに欲しいものを欲しいぶんだけ最善の形でお届けする。

akippa(株) 代表取締役社長CEO

金谷 元気 氏

1984年大阪府生まれ。高校卒業後から4年間はリーガーを目指し関西サッカーリーグなどでプレー。2007年に22歳でサッカーを引退し、上場企業での勤務を経て2009年にakippa(株)創業。2017年にはトヨタ自動車 豊田章男氏、ソフトバンク 孫正義氏、MLB ロサンゼルス・エンゼルス 大谷翔平選手らと共に日経ビジネス「次代をつくる100人」に選出された。

企業紹介

大阪府大阪市：駐車場のシェアリングサービスを運営。
akippa(株)は「なくてはならぬ」をつくる」をミッションに掲げ、使っていないスペースを時間貸し駐車場としてスマホから簡単に貸し借りできる駐車場シェアリングサービス「akippa」を運営。スペースの貸出や会員登録は無料。全国に常時3万5,000件以上予約できる駐車場を確保しており、スポーツ観戦やイベント・通勤・帰省・旅行など様々な用途で活用されている。これまでに30以上の自治体・スポーツチームと連携し、交通渋滞や駐車場不足などの困りごとと解決に取り組む。会員数は累計300万人を突破している。

嘉穂無線ホールディングス(株) 代表取締役社長

柳瀬 隆志 氏

1976年生まれ。東京大学経済学部卒業後、2000年三井物産入社。
2008年家業である嘉穂無線ホールディングス(株)入社。2016年嘉穂無線ホールディングス(株)及び(株)グッデイ代表取締役社長就任。2017年(株)カホエンタープライズ代表取締役社長就任。2022年2月『なぜ九州のホームセンターが国内有数のDX企業になれたか』を出版。

企業紹介

嘉穂無線ホールディングス(株)は、ラジオパーツ・アマチュア無線専門の小売店を開業し創業した嘉穂無線(株)が起源。ホームセンターを運営する(株)グッデイをはじめ、学習工作キット「エレキット」を手がける(株)イーケイジャパン、データ活用サービス事業を提供する(株)カホエンタープライズといった、各事業会社を統括運営するホールディングスカンパニー。変化をチャンスと捉え積極的な挑戦をし続け、常にお客さまの課題解決のお手伝いをしている。

コーディネーター

(株)国際社会経済研究所 理事長

藤沢 久美 氏

国内外の投資運用会社勤務を経て、1995年に日本初の投資信託評価会社を起業。1999年、同社を世界的格付け会社スタンダード&プアーズに売却後、2000年にシンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。2007年には、世界経済フォーラムより「ヤング・グローバル・リーダー」に選出され、世界40カ国以上を訪問。政府各省の審議委員、日本証券業協会などの公益理事他の公職、世界的課題に取り組むNPOの理事、豊田通商や静岡銀行など上場企業の社外取締役なども兼務。2022年4月、(株)国際社会経済研究所理事長に就任。

14:30~14:45

休憩

14:45~16:00

特別講演

「目標を持って生きることのすばらしさ」～モチベーションを維持続けるために～

アルピニスト

野口 健 氏

1973年アメリカ・ボストン生まれ。父が外交官であったためニューヨーク、サウジアラビアで幼少時代を過ごし、4歳の時にはじめて日本の地を踏む。その後、中学・高校は英国立教学院に入学。訳あって停学処分を受け、日本へ帰国中、植村直己氏の「青春を山に賭けて」に出会い、登山を始める。1999年3度目の挑戦でエベレストの登頂に成功。10年の歳月をかけて7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。2000年より、「エベレスト清掃登山」「富士山清掃登山」を精力的に行っている。2001年「シェルパ基金」設立、2003年「野口健環境学校」開校、2010年「センカクモグラを守る会」の立ち上げ、2016年「熊本地震テントプロジェクト」の立ち上げなど、活躍は多方面にわたる。

16:00~16:10

閉会挨拶

四国生産性本部 会長

長井 啓介

(四国電力株) 取締役社長社長執行役員)

ご参加にあたってのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大状況や登壇者の都合などにより、日程・時間・内容並びに開催形態の変更をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

講演の録画、録音、会議資料記載事項の無断転載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。

お申し込みについてのご案内

開催要領

と き 2023年 7月24日(月)・25日(火)

と ころ リーガロイヤルホテル広島 4階ロイヤルホール

対 象 経営トップ・経営幹部、労働組合幹部、学識者、関係官公庁幹部

参加費	・経営側単独でのご参加	1人につき	51,700円(税込)
	・労働側単独でのご参加	1人につき	30,800円(税込)
	・労使ペアでのご参加	1組につき	79,200円(税込)

(注)・いずれも参加者交流パーティー代、2日目昼食代を含みます。

・労使ペアまたは参加申し込み書でご指示が無い場合、以下のとおり振り分けて請求させていただきます。

経営側:49,500円(税込)、労働側:29,700円(税込)

お申し込み方法

中国生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://gr.energia.co.jp/cpcenter/nishinihon.html>

中国生産性本部

検索



申し込みページ

申し込み締切日

2023年7月10日(月)

お申し込みの流れ



連絡担当者のメールアドレスを入力し、送信してください。

「お申し込み情報入力ページURL」を記載したメールが届きます。

「参加証」を印刷し、当日、受付に提出してください。

「お申し込み完了メール」が届きます。

「参加申し込みフォーム」へ入力してください。

※「お申し込み完了メール」に記載されたURLまたはマイページより参加証をダウンロードできます。スマートフォンなどで画面を提示していただいても構いません。

- お申し込みの受付は、四国生産性本部の受付システムを利用しております。
- お申し込み内容の確認、変更、取消は同システムのマイページからお願いいたします。

その他

- ・お申し込み受付後、参加費請求書をご送付いたします。
- ・7月17日(月・祝)以降の取消につきましては、参加費の払戻しは致しかねますので、代理の方のご参加をお願いします。
- ・会議資料につきましては、1週間前を目途にダウンロードページをメールでご案内いたします。

個人情報の取扱いについて

- ・参加申し込みによりご提供いただいた個人情報は、裏表紙の各本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、各本部の個人情報保護方針の内容については、各本部ホームページをご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
- ・個人情報の開示、訂正、削除については、上記の窓口までお問合せください。
- ・本案内記載事項の無断転載をお断りします。

生産性運動の三原則

雇用の 維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を拡大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的な観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

労使の 協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

成果の 公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に配分されるものとする。



会場
案内

リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL 082-502-1121

JR「広島」駅より

- ・路面電車の場合
「宮島口行き」または「江波行き」で、「紙屋町西」下車（約15分）
- ・アストラムラインの場合
JR山陽本線または可部線で、「新白島」駅下車（約2分）後、アストラムラインに乗り換え、「県庁前」駅下車（約2分）
- ・タクシーの場合（約10分）

お 問 い 合 わ せ 先

中国生産性本部

[担当:丸本・石井]

TEL 082-242-7972 FAX 082-242-7973

〒730-0041 広島市中区小町4-33 中電ビル2号館4階

中部地区

中部生産性本部 [担当:鬼頭・高橋]

TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265
〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

四国地区

四国生産性本部 [担当:富田・篠原]

TEL 087-851-4262 FAX 087-851-4270
〒760-0033 高松市丸の内2-5 ヨンデンビル4階

関西地区

関西生産性本部 [担当:芝原・安丸]

TEL 06-6444-6464 FAX 06-6444-6450
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

九州地区

九州生産性本部 [担当:中尾・鳥取部]

TEL 092-771-6481 FAX 092-771-6490
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6階